

景

況レポート

(2023年10～12月期)

全業種

業況DIは前回比5ポイント上昇、次回は3ポイント下降の見通し

今回(10～12月期)は、業況DIは前回比で5ポイント上昇、売上DIは2ポイント下降、収益DIは9ポイント下降の結果となった。前年同期比では、業況DIは18ポイント上昇、売上DIも13ポイント上昇、収益DIも7ポイント上昇と全て上昇している。次回(2024年1～3月期)は、業況DIが今回比で3ポイント下降、売上DIは横ばい、収益DIは5ポイント下降の見込みである。

	2022年10～12月期 前年同時期	2023年7～9月期 前回	2023年10～12月期 今回	2024年1～3月期 次回見通し
業況DI	△6 >	7 >	12 ⁺⁵ >	9
売上DI	10 >	25 >	23 ⁻² >	23
収益DI	△8 >	8 >	△1 ⁻⁹ >	△6

業種別天気図 2023年10～12月期

	2023年7～9月期 前回	2023年10～12月期 今回	2024年1～3月期 次回見通し
総合	 >	 >	
製造業	 >	 >	
卸売業	 >	 >	
小売業	 >	 >	
サービス業	 >	 >	
建設業	 >	 >	
不動産業	 >	 >	

製造業

業況DIは前回比10ポイント上昇、次回は4ポイント下降の見通し

	2022年10~12月期 前年同時期	2023年7~9月期 前回	2023年10~12月期 今回	2024年1~3月期 次回見通し
業況DI	△23 >	△13 >	△3 ⁺¹⁰ >	△7
売上DI	16 >	10 >	17 ⁺⁷ >	21
収益DI	7 >	△3 >	0 ⁺³ >	△7

調査員のコメント

シール印刷 水産加工物添付のシールが中国への輸出禁止により受注減少。
紙加工品製造業 旭川家具業界の不況や生産拠点を海外に移すメーカーが増え、売り上げ規模は縮小。

卸売業

業況DIは前回比19ポイント上昇、次回は5ポイント下降の見通し

	2022年10~12月期 前年同時期	2023年7~9月期 前回	2023年10~12月期 今回	2024年1~3月期 次回見通し
業況DI	△18 >	0 >	19 ⁺¹⁹ >	14
売上DI	14 >	24 >	24 ^{±0} >	29
収益DI	△9 >	0 >	19 ⁺¹⁹ >	14

調査員のコメント

自動車部品卸売 半導体不足から多少改善となったが、仕入値上昇は止まらない。価格改定を都度行い、今後の販路拡大に期待。
鮮魚・貝類・甲殻類 コロナ感染者数減・飲食店の復調から売り上げは増加傾向も、仕入値や経費増加分を適正に価格転嫁できず苦戦。利益確保に向け、仕入先・販売価格見直し実施。

小売業

業況DIは前回比 6 ポイント下降、次回は 10 ポイント上昇の見通し

	2022年10~12月期 前年同時期	2023年7~9月期 前回	2023年10~12月期 今回	2024年1~3月期 次回見通し
業況DI	△12 >	6 >	0 ⁻⁶ >	10
売上DI	△9 >	46 >	27 ⁻¹⁹ >	43
収益DI	△18 >	33 >	0 ⁻³³ >	3

調査員のコメント

事務機器 オンライン注文の対応等、時代の変化に対応していくよう意識している。

燃料販売 燃料の高騰など続いており、影響が大きい。国の政策に左右される面も大きくあるため、国の動向はかなり注視している。世界情勢注視しながらの経営も先が見えず、まだしばらく続く見込み。

サービス業

業況DIは前回比 4 ポイント下降、次回は 4 ポイント上昇の見通し

	2022年10~12月期 前年同時期	2023年7~9月期 前回	2023年10~12月期 今回	2024年1~3月期 次回見通し
業況DI	11 >	15 >	11 ⁻⁴ >	15
売上DI	30 >	37 >	26 ⁻¹¹ >	26
収益DI	11 >	4 >	△26 ⁻³⁰ >	△26

調査員のコメント

宿泊業 人員はギリギリの状態だが、満足度向上のため休み・賞与は前年比増加させる予定。

葬祭業 現状町内高齢化進んでおり、葬儀件数無難に推移。数年間は安定需要見込んでいる。

建設業

業況DIは前回比7ポイント上昇、次回は12ポイント下降の見通し

	2022年10~12月期 前年同時期	2023年7~9月期 前回	2023年10~12月期 今回	2024年1~3月期 次回見通し
業況DI	6	22	29 ⁺⁷	17
売上DI	11	6	17 ⁺¹¹	9
収益DI	△17	0	0 ^{±0}	△6

調査員のコメント

土木建築工事 従業員の高齢化が進んでおり、世代交代が進まない。
土木・建築資材販売 建設業では、2024年4月より時間外労働時間に罰則付きで上限が設けられ労働環境の変革が求められている。働き方改革の一環として賃上げアップ等労働環境改善に取り組んでいる。

不動産業

業況DIは前回比25ポイント上昇、次回は38ポイント下降の見通し

	2022年10~12月期 前年同時期	2023年7~9月期 前回	2023年10~12月期 今回	2024年1~3月期 次回見通し
業況DI	0	0	25 ⁺²⁵	△13
売上DI	△25	38	38 ^{±0}	△13
収益DI	△38	25	13 ⁻¹²	△25

調査員のコメント

マンションデベロッパー 建築資材の高騰によりマンション販売価格も相応に上昇。

景気動向調査結果推移 (調査時期：2023年12月上旬 2024年3月は予測値)

		2022.12	2023.03	2023.06	2023.09	2023.12	2024.03			2022.12	2023.03	2023.06	2023.09	2023.12	2024.03	
業況	全産業	-6	-2	3	7	12	9	売上 前年比	全産業	19	18	25	28	31		
	製造業	-23	-23	-10	-13	-3	-7		製造業	16	10	29	13	21		
	非製造	-2	3	6	11	16	12		非製造	19	20	24	31	34		
	卸売業	-18	0	14	0	19	14		卸売業	23	41	23	24	29		
	小売業	-12	-15	-6	6	0	10		小売業	18	9	31	49	50		
	サービス	11	11	-4	15	11	15		サービス	26	26	41	33	33		
	建設業	6	22	19	22	29	17		建設業	17	19	8	14	20		
不動産	0	-25	13	0	25	-13	不動産	0	-13	13	50	50				
売上	全産業	10	1	19	25	23	23	収益 前年比	全産業	-5	-8	3	8	1		
	製造業	16	-10	16	10	17	21		製造業	-7	-23	3	7	-7		
	非製造	8	3	19	28	24	23		非製造	-5	-4	2	9	3		
	卸売業	14	27	9	24	24	29		卸売業	-5	14	14	0	5		
	小売業	-9	-12	25	46	27	43		小売業	-9	-24	13	30	13		
	サービス	30	15	22	37	26	26		サービス	7	7	-7	0	-7		
	建設業	11	-3	17	6	17	9		建設業	-6	3	-6	3	-3		
不動産	-25	-13	25	38	38	-13	不動産	-25	-38	0	0	13				
収益	全産業	-8	-16	8	8	-1	-6	販売価格 前年比	全産業	51	64	67	63	59		
	製造業	7	-32	-13	-3	0	-7		製造業							
	非製造	-11	-12	13	11	-2	-6		非製造	51	64	67	63	59		
	卸売業	-9	0	27	0	19	14		卸売業	41	68	73	67	67		
	小売業	-18	-27	13	33	0	3		小売業	58	61	63	61	53		
	サービス	11	-11	-7	4	-26	-26		サービス							
	建設業	-17	-6	19	0	0	-6		建設業							
不動産	-38	-13	13	25	13	-25	不動産									
販売価格	全産業	33	31	37	33	42	39	残業時間	全産業	-1	2	4	6	14	11	
	製造業	29	23	39	23	45	41		製造業	-3	-7	-3	0	0	-7	
	非製造	34	33	37	35	41	38		非製造	-1	4	6	7	17	16	
	卸売業	50	36	55	52	76	67		卸売業	9	14	27	14	24	19	
	小売業	42	42	38	46	47	47		小売業	-6	3	6	3	20	17	
	サービス	11	22	7	11	26	26		サービス	0	0	7	15	22	22	
	建設業	36	31	50	39	29	23		建設業	-3	6	-8	3	11	11	
不動産	25	38	25	13	38	38	不動産	0	-13	0	0	0	0			
仕入価格	全産業	57	57	62	55	68	64	人手状況	全産業	-25	-27	-28	-34	-40	-40	
	製造業	52	52	71	57	66	66		製造業	-16	-16	-19	-30	-14	-14	
	非製造	58	58	59	54	68	64		非製造	-27	-30	-30	-35	-46	-46	
	卸売業	64	64	91	62	76	71		卸売業	-14	-14	-23	-33	-52	-52	
	小売業	61	58	56	52	63	63		小売業	-18	-36	-22	-27	-47	-47	
	サービス	41	41	33	52	71	63		サービス	-33	-26	-41	-41	-41	-44	
	建設業	64	69	61	61	50	50		建設業	-42	-42	-42	-47	-51	-51	
不動産	63	50	63	25	68	64	不動産	-13	-13	0	0	-25	-13			
在庫	全産業	0	-1	-1	0	-1	-2	借入 難易度	全産業	8	11	4	10	8		
	製造業	10	7	-10	3	3	3		製造業	-13	-19	-13	-13	0		
	非製造	-3	-3	2	-1	-2	-3		非製造	13	18	8	16	10		
	卸売業	5	5	14	0	5	5		卸売業	14	14	-5	5	0		
	小売業	-3	-6	3	0	-7	-10		小売業	12	12	0	12	7		
	サービス	0	0	0	0	0	0		サービス	0	4	4	7	11		
	建設業	-3	-3	0	0	3	0		建設業	22	36	25	28	14		
不動産	-25	-13	-25	-13	-25	-13	不動産	13	25	13	38	25				
資金繰り	全産業	2	-3	2	1	3	4	設備状況	全産業	-7	-7	-7	-7	-8	-9	
	製造業	-13	-13	-16	-13	-17	-10		製造業	-7	-13	-10	-10	0	-3	
	非製造	6	-1	6	4	7	7		非製造	-7	-6	-7	-6	-10	-10	
	卸売業	-9	-14	5	-14	0	5		卸売業	0	-5	-5	-5	-5	0	
	小売業	0	-3	-6	-12	-13	-10		小売業	-9	-9	-3	0	-30	-27	
	サービス	4	0	4	19	7	7		サービス	-4	0	-11	-7	-4	-4	
	建設業	22	8	22	17	23	20		建設業	-11	-8	-8	-11	0	-6	
不動産	0	0	0	13	38	25										

[調査時期] 2023年12月上旬
 [対象先] 旭川市内・旭川市近郊および富良野市・近郊の当金庫取引先。うち、富良野市・近郊20/20

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計
対象先	29	21	30	27	35	8	150
回答数	29	21	30	27	35	8	150
回答率(%)	100	100	100	100	100	100	100

[分析方法] 各質問項目について「増加先割合」・「減少先割合」で算出したDI(Diffusion Index)

9、10ページの特別調査アンケートも、上記の時期、対象先で実施している。